

テキスタイル製造卸

トップに聞く

既存アパレルなど復調

—22年度(23年3月期)の状況は。

テキスタイル輸出が大きく伸び、売上高は31億円の見通し。昨年を越え、過去最高となります。欧州に加え中国やベトナムなどのアジア向けが増え、アウトドアやファッション用途の合織テキスタイルが好調です。事業別売上高でもテキスタイルの比率が44%と昨年よりも増え、円安も業績を押し上げました。

国内は前半厳しいところがありました。後半持ち直し、既存アパレルや百貨店、アウトドア向けを中心に売上げを維持しました。海外の比率が増えている。

川越政社長

川越浩治氏

海外比率は毎年15%ほど伸びています。上海とホーチミン、ロン

場は縮小傾向です。しかし世界的に見ると人口は増加。衣料の需要はあるので、販売国を広げるつもりです。日本同様に四季があるオーストラリアが、面白そうです。

ね。昨年始めた「SHIROTEX EX TIE」(シロテキスタイル)も海外顧客から問い合わせがきています。ホームページは英語とベトナム語、中国語にも対応し、誤った翻訳になるのを防ぐためローカルのスタッフに作成してもらいました。今後は国際生地見本市のブルミエール・ヴィジョン

テキスタイル輸出が伸びる

の出展も計画しています。

海外の拠点を活用

—来期の計画は。

今年と同じくらいの売上げ目標を立てています。海外3拠点を活用し、日本素材を輸出すると同時に、海外生産も強化。OEM(相手先ブランドによる生産)も含め、連動した商流を太くしていきます。そのためには人が重要です。当社は社員が少なく、1人の



働きやすさを重視して

職域が広い。仕事の全体像を把握できるため、必然的にゼネラリストになります。人数が少ない分、労働生産性を高め、より効率的に仕事することも意識しています。

また、職場活性化のために、社員からのポトムアップを取り入れ、それを束ねて明確な方針として打ち出します。ポトムアップをもらうためには、私からも何か発信しないといけません。そのため、私の考えや会議の動画を載せる経営者ブログなどに取り組んでいます。閲覧数も多く、社員からのコメントもあるのでうれしいですね。こうした社員とのコミュニケーションや、働きやすい会社にするための気配り、心配りには常に気を付けています。定着率の良さは当社の強みの一つ。素材開発や産地との連携にはある程度の経験が必要です。一定の企業規模を維持しつつ、これからも人を大事にした経営を続けていきます。

日本はつなぎ目に位置

ブレミアムゾーンのブランドはグローバル化、値段の上昇、サステイナブル(持続可能な)重視を強め、マス向けブランドは、インフレの影響で競争が激化しつつある。世界的には、高級ブランドほど生産工程を一括管理する傾向にあり、エコレスポンシブルの強化、古着トレンドも強まっているという。フランス衣料企業への調査によると、23年の投資の優先順位としてまずデジタル化、次いでエコレスポンシブル、3番目に店舗となつている。生産工程国表示を求めるフランスでのAGEC法

一新性と生産国、納期とロットへの関心が高い。「企業戦略としてサプライチェーンをどう構築するか考える上で、国・地域ごとに分けられていた方が効率がいい」との声もあり、ファブリックは国・地域ごとに分ける。展示会場のホール5にヨーロッパアンファブリックを、ホール6に欧州外のテキスタイルメーカーが集積。日本はホール5と6のつなぎ目部分に位置し、ホール6側で一部韓国とトルコと隣接する形となる。

五つの基準を設け

受け、展示会のテーマとして中心に据えるのがエコレスポンシブルだ。環境負荷やトレーサビリティ(履歴管理)、素材の耐久性など素材に関する五つの基準を設け、出展者へアンケートを取り、自主的な情報提供に基づいて何に貢献するかをピクトグラムで表示する。出展審査についても「今までは、国際的なマーケットで洗練された商品を提供できるかどうかと、コレクションにクリエイティブティーがあるかどうか審査の柱だったが、それに第3の柱としてエコレスポンシブルへの取り組みが加わる」という。また、見本市主催者としてごみ排出量の削減

独自技術で開発した 芯鞘構造の釣り糸

ユニチカ

ユニチカはポリエステルとナイロンの芯鞘構造の釣り糸「ユニテック・シンサヤ」を開発し、3月1日から神戸漁具(神戸市)を通じて販売を開始した。ナイロンのしなやかさとポリエステルの高感度(これまでにならぬ釣り糸として提案する)ユニテック・シンサヤは芯部にポリエステル、鞘部にナイロンを使用している。新たに紡糸ノズルを設計し、樹脂の選定や製造方法にもこだわった。ポリ

ル・ヴィジョンパリ

もエコレスポンスブル重視へ

ン分けやエコレスポンスブル(環境に責任のある)強化の背景と狙いを語った。出展審査についてもエコレスポンスブルといった要素を重視していく方針だ。(三富裕騎)

ン分けやエコレスポンスブル(環境に責任のある)強化の背景と狙いを語った。出展審査についてもエコレスポンスブルといった要素を重視していく方針だ。(三富裕騎)

ン分けやエコレスポンスブル(環境に責任のある)強化の背景と狙いを語った。出展審査についてもエコレスポンスブルといった要素を重視していく方針だ。(三富裕騎)

ン分けやエコレスポンスブル(環境に責任のある)強化の背景と狙いを語った。出展審査についてもエコレスポンスブルといった要素を重視していく方針だ。(三富裕騎)